

「身近なものからボキャブラリーを増やそう！」（武蔵野学院大学 模擬授業[埼玉県立ふじみ野高等学校]、令和2年11月12日）

前半はアクティブラーニングとして英語のクロスワードパズルを行った。後半はアニメに使用されたカタカナが実は英語であったりすることを紹介し、本当の意味は何なのかを確認した。また、よくわかっていない英語の事例や和製英語を本当の英語にした時の表現なども確認した。さらに、日本語の「3K」は英語では「3D」となること、COVID-19に伴う「3密」が英語では「three Cs」、環境問題の用語が「3R」から「4R」などを紹介した。個人の活動よりも生徒が協働作業しながら、ひとつのものを完成させることを目指す英語の授業を行った。